

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	IQLino豊中学校			
○保護者評価実施期間	2025年 3月 1日 ～ 2025年3 月 31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	40	(回答者数)	32
○従業者評価実施期間	2025年 3月 1日 ～ 2025年 3月 31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 5月 1日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	感覚統合プログラム・運動プログラム(土曜)・言語プログラム・プール療育等多様なプログラムを実施	プログラム内容が固定化しないようスタッフ同士で話し合い、日々のプログラム内容を決定してる。	研修への参加やスタッフ間同士での話し合いをしながらスタッフのスキルを上げ、支援へと繋げていく
2	多岐にわたる内容の研修を実施	虐待、感染症、支援の記録方法、プログラム、パソコン操作スキルなど、多岐にわたる内容の研修を実施している	研修を実践に活かすことができているかを評価し、より必要な知識やスキルに特化した研修を実施することを検討していく
3	レジリエンス(心の回復力・立ち直る力)を育てる事が出来る	結果を褒めるだけではなくそれまでの過程を認め、共感しながらプログラムを実施し、心を育んでいる	スタッフが子どもに寄り添いながら安心して安心して通える環境を整えていく

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所や認定こども園、幼稚園などと、活動の交流がない。	保護者様からのご希望で利用者個人についての園訪問は実施しているが交流を目的としては時間の確保的にも難しい。	イベント等で、園との交流の機会があれば参加を検討する
2	事業所でのイベントに、利用者以外の地域住民招待などを実施できていない。	参加者を利用者・利用家族に限定していた為、開催の周知が利用者以外へ出来ていなかった。	教室内のスペースとの関係もあるが夏祭り等でSNS等を活用し利用者以外への周知が出来るようにする
3	地域の児童発達支援センターなどとの連携が多く出来ていない。	地域の児童発達支援センターとどのような連携がとれるかなどについての情報を収集できていない。	児童発達支援センターとどのような連携の仕方があるか等情報収集をし、連携が取れる機会を検討していく